



受付第05A2323号
受付日：平成17年11月2日

品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

平成18年 3月31日

財団法人 建材

中央試験所長 勝

埼玉県草加市稲荷5丁



試験名称	筋かい入り木造軸組耐力壁（片筋かい）の面内せん断試験
依頼者	会社名：株式会社 栗山百造 所在地：新潟県三条市大字井戸場84番9号
試験体 (依頼者 提出資料)	1. 接合金物 名称：木造建築用筋かい金物 商品名：2倍コンパクトボックス K-4 用途：筋かい（45mm以上×90mm以上の木材）端部と柱及び横架材との止め付け部に使用する金物 取付位置：壁体内（図-1参照） 取付方法：筋かいと軸組の間に設置し、筋かいの内側で金物と筋かい端部を緊結 寸法：120×120×35mm，厚さ2.3mm（図-3参照） 材質：SGHC Z27（JIS G 3302） 2. 接合具 木ねじ：クリ皿ビス 5.5×45，筋かい側6本，柱及び横架材側各4本使用 長さ；45mm，ねじ部の長さ38mm，ねじ部の外径；5.5mm 谷の径；3.4mm，ねじ山のピッチ；3.1mm，ねじ先の形状；とがり先 材質；SWRCH18A（JIS G 3507） 表面处理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C（JIS H 8610及びJIS H 8625） 3. 使用軸組（耐力壁の長さ0.91m，高さ2.73m） 梁：樹種；べいまつ，寸法；105×180mm 柱及び土台：樹種；すぎ，寸法；105×105mm 間柱：樹種；すぎ，寸法；30×105mm 筋かい：樹種；べいつが，寸法；45×90mm 4. 試験体数 3体 参照：図-1～図-4（試験体の形状・寸法）
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	1mあたりの基準せん断耐力：3.5kN，終局変形角 γ_u の平均値：1/17rad 耐力算定基礎資料等：表-2～表-4 荷重-せん断変位包絡線の比較：図-5 荷重-せん断変位包絡線，変形角曲線及び変位曲線等：図-6～図-12 破壊状況：写真-1～写真-4
備考	当該試験結果は，平成12年告示第1460号の一の二に定める 45×90mm以上の木材に取付ける筋かいプレートに該当する。
試験期間	平成18年 1月25日～26日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋本敏男 試験責任者 高橋大祐 試験実施者 早崎洋一，守屋嘉晃
試験場所	中央試験所